



神奈川県の住まいまちづくりの将来像について

神奈川県の総合計画等について

かながわグランドデザイン 基本構想 (平成24年3月)

基本理念 「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

「いのち輝くマグネット神奈川」とは、県民が生きている喜びを実感し、生まれよかつた、長生きよかつたと思えること、人やものを引きつけるマグネットの力を持ち、住んでみたい、何度よ訪れてみたいと思ふ魅力にあふれているということです。県民一人ひとりのいのちを輝かせるとともに、人やものを引きつける魅力を持った神奈川の実現をめざしていきます。

神奈川の将来像

基本理念のもとに、2025年(平成37)年を展望し、次のような神奈川の将来像の実現をめざします

- 1 行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川
地域の魅力を最大限に生かし、人々が何度よ訪れてみたい、住んでみたいと思ふような、人をひきつける神奈川づくりを進めます。
- 2 いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川
災害や犯罪から県民のいのちを守るとともに、病気になる取組みを進め、県民のいのちを輝かせ、誰もが元気で長生きできる神奈川づくりを進めます。
- 3 県民総力戦で創る神奈川
県民、NPO、企業、団体、市町村などと情報や目的を共有しながら、神奈川の総力を結集し、新たな政策をとともに創り、それを全国に先駆けとなる「神奈川モデル」として発信します。

かながわグランドデザイン 第3期実施計画 プロジェクト編 (令和元年7月)

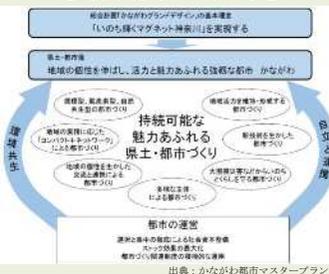
めざすべき4年後の姿 「コミュニティの再生・活性化による笑いあふれる100歳時代」

- 5つのめざすべき姿
 - ① 未病を改善し健康長寿の神奈川
未病を改善し、誰もがその人らしく笑って生き生きとくらし、健康で長生きできる神奈川を実現します。
 - ② 経済のエンジンによる活力あふれる神奈川
技術革新やグローバル化に積極的に対応するとともに、国家戦略特区制度などを活用して経済のエンジンを回し、活力あふれる神奈川を実現します。
 - ③ 安全で安心してくらせる神奈川
大規模地震などの自然災害、犯罪や交通事故などへの対策をより一層強化し、県民のいのちを守り、安全で安心してくらせる神奈川を実現します。
 - ④ ひとのチカラを最大限に生かす神奈川
年齢や性別にかかわらず誰もが自らのチカラを発揮し、一人ひとりが輝いて、心豊かに活動する神奈川を実現します。
 - ⑤ 地域の個性が輝き魅力あふれる神奈川
地域の個性が輝き、人を引きつけ、次世代に引き継げる魅力にあふれた神奈川を実現します。

かながわ都市マスタープラン (令和3年3月改定)

<将来を展望した県土・都市像「地域の個性を伸ばし、活力と魅力あふれる強靱な都市 かながわ」>

- これからの都市づくり
 - ① 循環型、脱炭素型、自然共生型の都市づくり
 - ② 地域の実情に応じた「コンパクト+ネットワーク」による都市づくり
 - ③ 地域の個性を生かした交流と連携による都市づくり
 - ④ 地域活力を維持・形成する都市づくり
 - ⑤ 新技術を生かした都市づくり
 - ⑥ 大規模災害などからいのちとくらしを守る都市づくり
 - ⑦ 多様な主体による都市づくり



住まいに係る将来の課題

- <都市をめぐる時代の変化と見通し>
- 少子高齢化の進行と人口減少社会の本格化
 - 気候変動、環境問題の顕在化
 - 災害の頻発・激甚化と安全・安心の意識の高まり
 - 新技術のまちづくりへの展開
 - 既存ストックの老朽化、官民連携の進展

<これからの住まい・まちづくりの課題>
高齢者等あらゆる人々がくらしやすい住環境の形成、環境と共生する質の高い市街地の形成、被災地における応急仮設住宅の迅速な供給、多様なライフスタイルに対応した住まいづくり、高度経済成長期に建設された住宅ストックの老朽化、コミュニティの維持・形成に配慮した住環境の整備など様々な課題が顕在化している。

かながわ都市マスタープランなどから住宅計画策定とめ

2030 (R12) 年の住まい・まちづくりの将来像

県は住宅施策の観点から、「人生100歳時代に向けて、全ての県民が、ともに支えあいながら、安全で安心して暮らせる住まいまちづくりの実現」を図る必要がある。

Keypoint

- 住宅政策は、終戦直後の深刻な住宅不足や、高度経済成長に伴う都市部への人口流入に対応するため、「住宅の量の確保」のため新規供給を基本に進めてきた。
- 住宅の量の充足が図られた後においては、社会経済情勢の変化や時代のニーズに対応するため、「住宅の量の確保」から「住環境を含めた住宅の質の向上」へと政策転換を図ってきた。
- そうした中で、現行計画では、「質」の向上を一層推進するため、「人(県民)」、「住宅」、「まちづくり」、「新しい住生活」の4つの視点から住宅施策を展開してきた。
- 現在の県内の住生活を取り巻く環境は、少子高齢社会が進む中、空き家や高齢化マンションの増加等に加えて、コロナ禍を契機としたライフスタイルの変化や自然災害の頻発・激甚化など、大きな変化を迎えている。
- このような状況を踏まえ、現行計画にある視点の枠組みを維持しつつ、引き続き「質」の向上を推進すると共に、社会環境の大きな変化や価値観の多様化に対応した考え方を取り入れていく必要がある。
- また、地域の魅力を最大限に生かし、全ての県民がいのちを輝かせ、生きがいを持って暮らすためには、神奈川らしい新たな住生活を推進していく必要がある。
- そこで、新計画では、社会環境の変化等に対応しつつ、安全で安心して暮らせる住まいまちづくりの実現を図るため、「社会環境の変化」、「人・コミュニティ」、「住宅ストック・まちづくり」、神奈川らしい新たな住宅政策を目指す「神奈川らしい住生活」の4つの視点から住宅施策を展開する。

神奈川県住生活基本計画 見直しの視点



社会環境の変化

- 新しい社会に応じた環境形成の推進
 - ・テレワーク等の働き方に対応した環境整備
 - ・住まいにおける価値観の多様化
 - ・大規模災害を想定した住まいづくり 等々

Keyword

- ・テレワークスペース・サテライトオフィス
- ・DIY・リノベーション
- ・二地域居住・サブスクリプション型居住・DX
- ・防災意識・耐震空間・災害リスク情報

人・コミュニティ

- 安心して暮らせる居住環境の整備
 - ・重層的な住宅セーフティネット機能の推進
 - ・高齢者等がいきいきと暮らせる居住環境
 - ・子育て世帯が安心して暮らせる居住環境 等々

Keyword

- ・住宅確保要配慮者・住宅セーフティネット
- ・居住支援協議会・見守り
- ・サ高住・バリアフリー・地域拠点
- ・シェアハウス・ミクストコミュニティ

住宅ストック・まちづくり

- 質の高い住宅ストックの形成
 - ・住環境を含めた住宅の質の向上
 - ・安心してリフォームできる環境の整備
 - ・カーボンニュートラルの推進 等々

Keyword

- ・リフォーム・インスペクション・住宅の長寿命化
- ・マンション・団地再生・オールドニュータウン
- ・空き家・マッチング・転貸
- ・県産木材・カーボンニュートラル

神奈川らしい住生活

- 地域特性を活かした住まいの実現
 - ・まちづくりプレーヤーの支援とネットワーク形成
 - ・多世代居住のまちづくりの推進
 - ・環境と共生した住まい・まちづくり 等々

Keyword

- ・プレーヤー支援・ネットワーク・地方移住
- ・地域コミュニティ・地域特性・民間活力
- ・多世代居住のまちづくり・中間的な住まい
- ・スマートタウン・ZEH・健康団地